



SEMICON JAPAN 2016 参加報告書

2016年12月15日

群馬大学

理工学部・電子情報理工学科

小林研究室

井田 貴士

SEMICON JAPAN

概要

SEMICON Japan は今年で 40 回目の開催となる、世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーン総合展示会である。

その核となる半導体製造装置・材料については前工程から後工程までの全てを網羅する、国内唯一の大規模国際展示会である。

開催場所

東京ビックサイト：東京都江東区有明 311-1-1



参加目的

自身の研究である TDC についてのポスター発表、及び当研究室で研究されているものについてのポスター発表。また展示会に参加することで、半導体産業の現在を身をもって知る。

報告・感想

今回 SEMICON に参加し、大学では感じることのできないビジネスにおける半導体産業というものを感じられた展示会であった。普段、大学ではアカデミックな側面でしか半導体分野を見ることしかなく、共同研究等を通して、やはりビジネスという点においてはあまり身近に感じることは出来なかった。しかし今回、SEMICON JAPAN に参加することにより、普段学んでいることが、実際に産業でどのように活かされ、製品化され、市場を動かしているのかを感じることができ、大変有意義な展示会だった。

また企業ブースと比べると学生ブースは比較的人が少なく、SEMICON の展示会はビジネスの場のような印象を強く感じたが、中にはポスターに対して興味を示していただき、質問をもらったが、全く違う分野の人に自分のやっていることをわかりやすく伝えるのは難しいと思った。

謝辞

今回、SEMICON JAPAN への参加という貴重な経験の機会を設けて頂いた小林先生、SEMICON JAPAN の方々に深く感謝を申し上げます。

フォト



SEMICONの様子



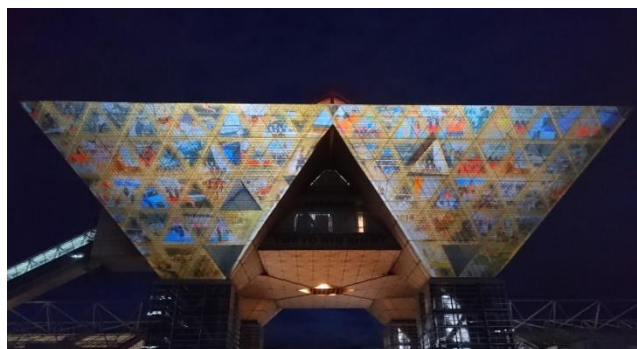
大学ブースの様子



講演会ブース



くまモンがいた



プロジェクションマッピング